

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論Ⅵ （地域診断）	3年次 後期	必修	講義	1単位 （30時間）	原澤由美子 ※
授 業 概 要					
<p>地域診断は人々に関わる情報を多角的に分析し地域全体の健康課題とその背景を明らかにすることにより、効果的な公衆衛生看護活動を行う基盤となる。</p> <p>ここでは地域診断の基本的な考え方や進め方を学習するとともに、既存資料を用いて演習を行いその技法を体験的に学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 地域診断の目的と方法を説明する。</p> <p>2. 地域診断で用いる理論の概要を説明する。</p> <p>3. 既存資料を用いて情報収集、分析、アセスメントができる。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	<p>1. 地域診断の目的</p> <p>2. 地域診断に用いる理論 コミュニティ・アズ・パートナーモデル プリシード・プロシードモデル</p> <p>3. 地域診断の方法</p> <p>1) 情報収集</p> <p>2) 分析</p> <p>3) アセスメント</p> <p>4) 健康課題の抽出</p> <p>5) 優先順位の考え方</p> <p>6) 公衆衛生看護活動への活用</p> <p>7) 評価</p> <p>4. 地域診断演習</p> <p>1) 既存資料を用いて情報収集、分析、アセスメント</p> <p>2) 地域診断資料の作成</p> <p>3) 発表</p> <p>4) まとめ</p>				原澤由美子 ※
学 習 方 法					
講義 演習					
評 価 方 法					
科目修了試験、演習評価表					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書 、 参 考 書					
<p>〔教科書〕</p> <p>公衆衛生看護学.jp 荒賀直子 インターメディカル 厚生指針 国民衛生の動向 (財)厚生統計協会 公衆衛生がみえる 医療情報科学研究所 メディックメディア</p> <p>〔参考書〕</p> <p>標準保健師講座別巻1 保健医療福祉行政論 藤内修二編 医学書院</p>					